

# 平成27年度の事業報告書

## 特定非営利活動法人こえとことばとこころの部屋

### 第十三期事業報告書

#### I 事業期間

平成27年6月1日～平成28年5月31日

#### II 事業実施概要

今年度は、地域に暮らす人々の高齢化が加速したこと、阿倍野再開発により西成区まで不動産の状況が変わり、商店街は中国人の経営するカラオケ居酒屋が急増しコッポルムを訪れる人が激減し、カマン！メディアセンターの大家が変わり退去を余儀なくされるなど、組織も疲弊感が高まるなか、次年度以降の選択をしなければならぬ年であった。そうしたなかでも、2012年より取り組み、外部評価の高い「釜ヶ崎芸術大学」は参加者の希望の多さやニーズの高さから、さらに講座数、授業数ともに増えた。八戸や鳥取、吉野への旅など、釜ヶ崎からおじさんたちと旅する企画もふえ、海外での活動報告も関心をもちた。ヨコハマトリエンナーレ2014を経て、この大きなきっかけから、大学院構想も生まれ、「釜ヶ崎美学学会」をたちあげ、研究会やフィールドワークを実施した。また、調査研究活動としては、大阪市の「地域等における芸術活動促進事業」を3つの連合団体で受託し、「地域に根ざしたアートと文化」と題した調査、フォーラムなどを開催した。

「釜ヶ崎芸術大学」事業の最後には、成果発表会を行っている。今年は大阪市立大学のアーツマネジメント養成講座と連携し、「釜ヶ崎オ！ペラ2」というタイトルで、インドネシアのアーティスト、タイのアーツマネージャーの参画もある公演を行なった。新しい試みであったが、釜ヶ崎に起居するおじさんたちを中心とした現役芸大生と海外からのアーティストとのコラボレーションは、高い即興力とあたたかい場作りがあり特筆にあたいするものであった。また公演翌日に参加者やボランティアのみなさんと集まる会をもった。そこでの感覚はやはりもう一歩踏み込んだ振りかえりの場となった。来期は最後の「釜ヶ崎オ！ペラ3」を開催予定である。今後もこうした形でのアウトプットがどのように参加者の生活や日常に影響があるのか、またどのような社会的インパクトをもてるのかをみていきたい。

「美学学会」のフィールドワークの位置づけ、「旅する釜芸」は八戸、鳥取、吉野へと出かけて行った。訪問先の地域の人たちとの交流は両者にとって刺激となった。海外での報告は、アメリカ・シアトル、フィリピン・マニラでおこない、地域に根ざすアートの活動への関心の高さがうかがえた。

高齢化が進む釜ヶ崎のまちは転換期を迎えている。その中で2013年7月から始まった「西成区単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業／ひと花プロジェクト」は当法人を含む5つのNPO法人の連合体で今期も受託した。当法人は主に、アートのワークショップである「表現プログラム」のコーディネートを担当している。社会的つながりを果たしうるさまざまな取組みを検証し、事業委託というかたちであることから公益性に資する事業のあり方についても考察を深めてきた。また、2011年から2年間運営に関わってきた「支援ハウス路木」の夜間休日の突発的トラブルに対応。地域の状況に即して、高齢者・障がい者への取組みが大きくなってきたと感じる。全国的に見ても単身の高齢者や排除されがちな障がい者、ボーダー層がおおいまちなかで活動しているため、多様性をいかに先駆的モデルとなるよう、取組みを言語化したい。ずっと課題として感じていることは、関わる団体・組織のイデオロギーや制度の活用が違ふことから、働き方にたいしても、さまざまなことに対しても意識の違いが大きくあり、合意形成の難しさがある。

発足当時から関わってきた「大阪でアーツカウンシルをつくる会」は、改称し「大阪でアーツカウンシルを考える会」となり、今年度は江之子島芸術創造センターと連携して勉強会を開催した。大阪アーツカウンシルの活動を見守りながら、大阪での文化政策について語り合える場を今後も継続していく。

出版事業では「コッポルム10周年記念本」は4度目の編集者と出版社が決まり、来期早々に刊行する運びと

遠藤 智昭 2015/7/18 19:10

削除：加者

遠藤 智昭 2015/7/18 19:14

削除：

遠藤 智昭 2015/7/18 19:15

削除：る

遠藤 智昭 2015/7/18 19:16

削除：（釜ヶ崎に起居するおじさんたちを中心に）

遠藤 智昭 2015/7/18 19:16

削除：カフェを営業するかたちでなく、

遠藤 智昭 2015/7/18 19:17

削除：今後

遠藤 智昭 2015/7/18 19:17

削除：、

遠藤 智昭 2015/7/18 19:21

削除：7

遠藤 智昭 2015/7/18 19:23

削除：全国において単身の高齢者や排除されがちな障がい者、ボーダー層がおおいまちなかで活動するため、多様性をいかに先駆的モデルとなるよう、取組みを言語化したい

なった。5年を費やした出版となったが、やっと実現した。

新しい物件の候補からおなじ商店街のもうすこし南に物件を決めて、新事業の計画をはじめた。ココルームの活動の中長期のビジョンをはじめて持った事業である。4月3日に「ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム」をオープンした。ミッション（人々のであいと表現の場をつくること）と事業をくみあわせた新規事業であるが、手探りである。滑り出しは順調ではないが、立ち上げに苦労はつきもの、工夫と粘り強さをもって取り組んでいく所存である。

拠点の移動は3回目になる。新規事業にとりかかったことは、あたらしい活動のはじまりでもある。これまでの継続事業もあるなか、スタッフも大幅に入れ替わった。手探りであるために、仕事のやりかたや手順、気をつけることも、これまでは異なる部分もある。スタッフの働き方も変わる。だれもがあたらしい環境のなかで、スタッフそれぞれはじぶんで考え、じっさいに体を動かし、よく話し合うことを大切にしていきたい。船は動き出した。この変わりゆくまちのなかで、人々のであいをつむいで、ていねいに日々を漕いでゆきたい。

### III 事業の報告

#### 1. 特定非営利活動に係る事業

##### (1) 鑑賞及び発表機会提供事業

【事業名】 鑑賞及び発表機会提供事業  
【内容】 「釜ヶ崎句会」ほか  
【実施場所】 インフォショップ・カフェ ココルーム  
【実施日時】 6月～5月、随時実施  
【事業の対象者】 一般市民  
【収入】 ￥ 0  
【支出】 ￥ 0

##### (2) 交流スペース及び市民相談窓口管理事業

【事業名】 交流スペース及び市民相談窓口管理事業  
【内容】 交流スペース「インフォショップ・カフェ ココルーム」「カマン！メディアセンター」の管理運営を行い、市民に開かれた文化活動の場を提供することに務め、アートによるつながりづくりを実施する  
【実施場所】 インフォショップ・カフェ ココルーム、カマン！メディアセンター  
【実施日時】 6月～2月、10時から19時(休み：日曜)  
【事業の対象者】 一般市民  
【収入】 ￥ 53,520 (内訳 事業収入 53,520円)  
【支出】 ￥ 2,692,021 (内訳 消耗品費63,693円、事務用品費227,552円、印刷製本費2,800

円、水道光熱費144,695円、

通信費(電話／ネット) 268,385円、諸会費12,080円、旅費交通費7,600円、管理費46,452円、家賃475,000円、会議費10,000円、支払手数料432円、修繕費55,408円、保険料931,80円、雑費706円)

##### (3) 交流スペース及び市民相談窓口管理事業

【事業名】 カフェ事業  
【内容】 交流スペースにおけるつながりづくりとしてのカフェ事業  
【実施場所】 インフォショップ・カフェ ココルーム  
【実施日時】 6月～5月、10時から19時(不定休)  
【事業の対象者】 一般市民  
【収入】 ￥ 1,735,206円 (内訳 事業収入1,735,206円)  
【支出】 ￥ 2,305,628 (内訳 人件費140,000円、売上原価555,765円、消耗品費2,010円、水道光熱費239,528円、管理費205,330円)

遠藤 智昭 2015/7/18 19:27

削除: にであえていない

(4) 交流スペース及び市民相談窓口管理事業

[事業名] ゲストハウス事業  
[内 容] 交流スペースにおけるつながりづくりとしてのゲストハウス事業  
[実施場所] ゲストハウスとカフェと庭 ココルーム  
[実施日時] 4月～5月  
[事業の対象者] 一般市民  
[収 入] ￥ 1,030,673 (内訳 事業収入¥1,030,673)  
[支 出] ￥ 2,305,628 (内訳 人件費711,002円、売上原価555,765円、消耗品費¥379,999、  
事務用品費¥36,413、水道光熱費¥53,772、印刷製本費¥8,495、通信費¥23,832、  
旅費交通費¥422,791、外注費¥319,337、管理費¥306,892、家賃¥800,000  
会議費¥130,000、修繕費¥972,635、支払い手数料¥420)

(5) 調査・研究とその発表の為の放送・出版・ウェブ制作及び流通事業

[事業名] 大阪市地域等における芸術活動促進事業  
[内 容] 「地域に根ざしたアートと文化」調査、実践、広報、報告。大阪市の事業委託  
[実施場所] 大阪市域  
[実施日時] 6月～3月  
[事業の対象者] 一般市民  
[収 入] ￥ 8,983,962 (事業委託 ¥8,983,962)  
[支 出] ￥ 97,436 (出演料¥769,824、謝金¥69,984、印刷費¥34,668、  
広報費¥2,257,241、会場設営・運営費¥837,594、報告書作成費¥3,141,720  
その他経費¥1,872,931)

(6) 高齢者・障がい者のつながりづくり事業

[事業名] 「ひと花プロジェクト」事業  
[内 容] 西成区の単身高齢生活保護受給者のためのつながりづくり事業への参画および、  
表現プログラムのコーディネート、就労体験受け入れ  
[実施場所] 地域  
[実施日時] 6月～5月  
[事業の対象者] ひと花センター登録者及び一般市民  
[収 入] ￥ 676,512 (コーディネート費¥311,040、記録費¥342,144、就労体験¥23,328)  
[支 出] ￥ 140,000 (人件費¥140,000)

(7) 高齢者・障がい者のつながりづくり事業

[事業名] 「ライフサポート路木」事業  
[内 容] ライフサポート路木と連携し、高齢者・障がい者が社会とつながる機会と安心して生  
活できる場をつくるための生活サポートなど  
[実施場所] 地域  
[実施日時] 6月～5月  
[事業の対象者] 支援ハウス路木住民及び一般市民  
[収 入] ￥ 600,000 (事業収入¥600,000)  
[支 出] ￥ 162,000 (人件費¥162,000)

(8) 人と街と文化に焦点をおいた地域活性化事業

[事業名] 健康相談会事業  
[内 容] 釜ヶ崎地域の人向けに無料の健康相談会(血圧と歯科相談)を月1回継続して行う。  
健康の不安をきくことは日常生活の基礎部分を支えることにつながり、生活の中の悩み  
をきくきっかけともなる  
[実施場所] カマン!メディアセンターおよび路面  
[実施日時] 6月～5月  
[事業の対象者] 一般市民  
[収 入] ￥ 0

[支 出] ￥ 2,694 (消耗品費¥2,370、雑費¥324)

(9) アーツマネジメント普及のためのコンサルティング事業

[事業名] 「釜ヶ崎芸術大学」事業

[内 容] 釜ヶ崎地域を大学にみたくて、さまざまな講座を開催する。誰もが集い学び合える場と機会を創出する。成果発表会として、大阪市立大学連携し「釜ヶ崎オ！ペラ2」を上演。

[実施場所] 釜ヶ崎地域など

[実施日時] 6月～5月

[事業の対象者] 一般市民、企業、NPOなど

[収 入] ￥7,547,017 (助成金¥1,100,000、大阪府立大学受託金¥1,965,600、)

[支 出] ￥ (謝金¥1,182,981、外注費¥2,730,900、消耗品費¥161,322、事務用品費¥206,011、人件費¥1,034,000、印刷製本費¥444,065、通信費¥109,237、旅費交通費¥747,847、会場費¥332,750、図書費¥7,028 運営費¥566,876)

(10) アーツマネジメント普及のためのコンサルティング事業

[事業名] 「詩の学校」事業

[内 容] 月に1回、一般市民を対象として上田假奈代の「詩の学校」を開催。

[実施場所] 應典院

[実施日時] 6月～5月

[事業の対象者] 一般市民

[収 入] ￥96,000 (参加費¥96,000)

[支 出] ￥12,000 (会場代¥12,000)

IV 社員総会の開催状況

第12回定時総会

[日 時] 2015年7月24日 10:30から12:30

[場 所] 大阪市西成区山王1-15-11 インフォショップ・カフェ ココルーム

[社員総数] 27名

[出席者数] 正会員27名中17名(内委任状参加者8名)

[内 容] 第1号議案 平成27年度(第12期)事業報告及び決算の件  
第2号議案 平成28年度(第13期)事業計画の件  
すべて審議の結果、満場異議なく承認可決。

V 理事会その他の役員会の開催状況

第12回定時理事会

[日 時] 2015年7月24日 09:30から10:30

[場 所] 大阪市西成区山王1-15-11 インフォショップ・カフェ ココルーム

[理事総数] 8名

[出席者数] 5名(委任状2名)

[内 容] 第1号議案 平成27年度(第12期)事業報告及び決算の件  
第2号議案 平成28年度(第13期)事業計画の件  
すべて審議の結果、満場異議なく承認可決。